別紙5

訂正の推移

	構成要件	特許公報	第一次訂正（控訴審時） 訂正2015－390027号	第二次訂正 訂正2017－390038号	第三次訂正 訂正2018－39028号	第四次訂正 訂正2019－390025号
請求項1	1A	装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと	装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと		装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと	
	1B	他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって，	他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって，		他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって，	
	1C	前記ホルダーとホルダー受けには，これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に，互いに吸着する磁石の各一方を，あるいは磁石とこれに吸着される金属材を，それぞれ吸着部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において，	前記ホルダーとホルダー受けには，これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に，互いに吸着する磁石の各一方を，あるいは磁石とこれに吸着される金属材を，それぞれ吸着部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において，		前記ホルダーとホルダー受けには，これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に，互いに吸着する磁石の各一方を，あるいは磁石とこれに吸着される金属材を，それぞれ吸着部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において，	
	1D	前記ホルダーが1対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鰐ロクリップであり，	前記ホルダーが，ホルダー受け嵌入用の開口部を構成すると共に先端部に噛合い形状を形成した1対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鰐ロクリップであり，		前記ホルダーが，ホルダー受け嵌入用の開口部を構成すると共に先端部に噛合い形状を形成した1対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鰐ロクリップであり，	
	1E	前記ホルダー受けが1対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり，	前記ホルダー受けが1対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり，		前記ホルダー受けが1対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり，	
					かつ，係止部材は，円柱形状又は円筒形状を待っていて，かつ，係止部材は，吸着部材とネック部で構成されていて，かつ，係止部材の先端側には，細径である段差のない円柱形状又は円筒形状のネック部を介して吸着部材を固定していて，かつ，ネック部の直径は，係止状態にある鰐ロクリップの一対の止め部と止め部の間以下であり，かつ，係止部材の吸着部材の直径は，係止状態にある鰐ロクリップの止め部より後部の一対の顎部材間以下であり，かつ，係止部材の吸着部材の直径は，係止状態にある鰐ロクリップの一対の止め部と止め部の間より大きく，かつ，係止部材の吸着部材の先端から後部までの長さは，係止状態にある鰐ロクリップの中の吸着部材と止め部の間以下であり，	
	1F	かつ，前記鰐ロクリップの内部における1対の顎部材間に一方の吸着部材を設け，	かつ，前記鰐ロクリップの内部における1対の顎部材間に一方の吸着部材を設け，		かつ，前記鰐ロクリップの内部における1対の顎部材間に一方の吸着部材を設け，	
	1G	前記係止部材の先端に他方の吸着部材を設けた装飾品鎖状端部の留め具。	前記係止部材の先端に他方の吸着部材を設けた装飾品鎖状端部の留め具。		前記係止部材の先端に他方の吸着部材を設けた装飾品鎖状端部の留め具。	
請求項2	2A	前記鰐ロクリップの内部に設けた吸着部材が前記1対の顎部材のいずれか一方に固定され， あるいはこの吸着部材を支持する支持部材が前記1 対の顎部材を軸支する支軸によって支持されている 請求項1に記載の装飾品鎖状端部の留め具。	装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって，	あるいは，装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって，		あるいは，装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって，
	2B					かつ，前記留め具は，前記ホルダーを閉口動作する事で，前記ホルダー受けのネック部に対して，ホルダーの止め部が係止される方式の留め具であって，
	2C		前記ホルダーとホルダー受けには，これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に，互いに吸着する磁石の各一方を，あるいは磁石とこれに吸着される金属材を，それぞれ吸着部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において，	前記ホルダーとホルダー受けには，これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に，互いに吸着する磁石の各一方を，あるいは磁石とこれに吸着される金属材を，それぞれ吸着部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において，		前記ホルダーとホルダー受けには，これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に，かつ，前記ホルダーと前記ホルダー受けには，前記ホルダーを閉口動作する事で，前記ホルダー受けのネック部に対して，ホルダーの止め部が係止できる位置に誘導できる部位に，互いに吸着する磁石の各一方を，あるいは磁石とこれに吸着される金属材を，それぞれ吸着部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において，
	2D		前記ホルダーが1対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鰐ロクリップであり，	前記ホルダーが，ホルダー受け嵌入用の開口部を構成すると共に先端部に噛合い形状を形成した1対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鰐ロクリップであり，		前記ホルダーが，ホルダー受け嵌入用の開口部を構成すると共に先端部に噛合い形状を形成した1対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鰐ロクリップであり，
	2E					かつ，前記の噛合い形状は，内周側へ張り出した止め部を形成していて，
	2F		前記ホルダー受けが1対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり，	前記ホルダー受けが1対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり，		かつ，前記ホルダー受けが1対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり，
	2G			かつ，嵌入するホルダー受けのネック部の大きさは，鰐ロクリップの一対の閉口状態の顎部材の止め部と止め部の間以下の大きさであり，		かつ，嵌入するホルダー受けのネック部の径の大きさは，鰐ロクリップの一対の閉口状態の顎部材の止め部と止め部の間以下の大きさであり，
	2H			かつ，ホルダー受けの吸着部材の大きさは，鰐ロクリップの閉口状態の止め部より後部の一対の顎部材間以下の大きさであり，		かつ，ホルダー受けの吸着部材の径の大きさは，鰐ロクリップの閉口状態の止め部より後部の一対の顎部材間以下の大きさであり，
	2I			かつ，ホルダー受けの吸着部材の大きさは，鰐ロクリップの一対の閉口状態の顎部材の止め部と止め部の間より大きく，		かつ，ホルダー受けの吸着部材の径の大きさは，鰐ロクリップの一対の閉口状態の顎部材の止め部と止め部の間より大きく，
	2J					かつ，ホルダー受けの吸着部材の先端から後部までの長さは，閉口状態の鰐ロクリップの中の吸着部材と止め部の間以下の長さであり，
	2K		かつ，前記鰐ロクリップの内部における1対の顎部材間に一方の吸着部材を設け，前記係止部材の先端に他方の吸着部材を設け，前記鰐ロクリップの内部に設けた吸着部材が前記1対の顎部材のいずれか一方に固定され， あるいはこの吸着部材を支持する支持部材が前記1対の顎部材を軸支する支軸によって支持されている装飾品鎖状端部の留め具。	かつ，前記鰐ロクリップの内部における1対の顎部材間に一方の吸着部材を設け，前記係止部材の先端に他方の吸着部材を設け，前記鰐ロクリップの内部に設けた吸着部材を支持する支持部材が前記1対の顎部材を軸支する支軸によって支持されている装飾品鎖状端部の留め具。		かつ，前記鰐ロクリップの内部における1対の顎部材間に一方の吸着部材を設け，前記係止部材の先端に他方の吸着部材を設け，前記鰐ロクリップの内部に設けた吸着部材を支持する支持部材が前記1対の顎部材を軸支する支軸によって支持されている装飾品鎖状端部の留め具。